



洗面手洗器

取扱施工説明書

施工・使用前に必ずお読みください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

このたびは、当社製品をお買い求めいただき、まことにありがとうございました。

安全上のご注意

施工・使用前に、下記注意事項をよくお読みの方え、正しくご使用ください。

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果(傷害・物損)に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ずお守りください。

注意 取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか、または物的損害が発生する危険な状態が生じることが想定されます。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

必ず実行 必ず実行していただく「強制」を示します。

禁止 してはいけない「禁止」を示します。

注意 気をつけていただきたい「注意」を示します。

施工上のご注意

注意

必ず実行

- 施工前に、輸送による破損がないかご確認ください。
- 器は平らなカウンターに設置してください。破損・故障の恐れがあります。
- 必ず指定位置に、シリコンコーキング等のシール材(防カビタイプ)を塗布してください。漏水により家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。
- 排水金具の締付ナットは、器の破損を防止するために、ゴムパッキンの弾性を失わない程度に締付けてください。
- 本品と組合わせて使用する水栓は必ず止水栓(流量調節のできる器具)を取付けた配管に設置してください。
- 施工後は、本書記載の施工後の確認を必ず行ってください。

禁止

- 施工の際、器に物をのせたり、強い衝撃(物を落とす、たたく等)を与えたりしないでください。破損・故障の恐れがあります。
- 器に日光やスポット照明が直接当たる場所には設置しないでください。
- ストープやヒーター等の熱を発生するものの近くに設置しないでください。

注意

施工完了後、お客様が使用されるまでの間、器表面にキズや汚れが付かないよう、梱包のビニール等で保護してください。

使用上のご注意

注意

禁止

- 器に60°C以上の熱湯や油、シンナー等の溶剤を流さないでください。破損・故障の恐れがあります。
- 器に物をのせたり、強い衝撃(物を落とす、たたく等)を与えたりしないでください。破損・故障の恐れがあります。
- 器にひびが入ったり、割れた場合、破損部には素手で触らないでください。破損部でケガをする恐れがあります。
- 器にひびが入った状態で使用しないでください。突然割れてケガをする恐れがあります。
- ドライヤー等の熱風や、火のついたタバコが当たらないようにしてください。

注意

- 汚れを長く放置すると表面に汚れがしみ込むことがあります。汚れが付着した場合はすぐに水拭きをし、こまめにお手入れをしてください。
- ヘアカラー・ヘアマニキュア・養毛剤等の薬液がかかった場合はすぐに洗い流してください。放置すると変色する恐れがあります。
- 金属たわしやクレンザー・みがき粉等粒子の粗い洗剤、酸性・アルカリ性・塩素系洗剤、ベンジン、油等は本品を傷めますので使用しないでください。
- 金属類(ヘアピン・カミソリの刃等)を放置しないでください。サビが付着して取れなくなる場合があります。
- スチームクリーナーは使用しないでください。破損の原因となります。

製品同梱明細

施工前に、下記の同梱部材がそろっていることをご確認ください。

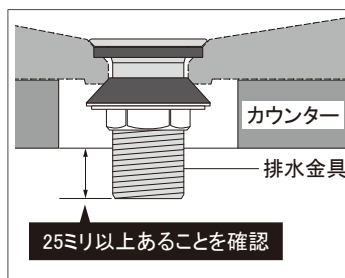
器本体・取扱施工説明書に加えて、下記の部材を同梱しています。

器固定金具 (置型として設置する場合)		
固定プレート	固定ナット	角材
		 厚さ21ミリ ×2 厚さ9ミリ ×2 (両面テープ付き)

施工の前に

置型として設置する場合は、器固定金具の取付可否の確認が必要です。
*オーバーカウンターとして設置する場合は「施工方法」に進んでください。

取付可否の確認



カウンター下から排水金具ネジ先端までの寸法が25ミリ以上あるかご確認ください。

25ミリ未満の場合は施工できません。

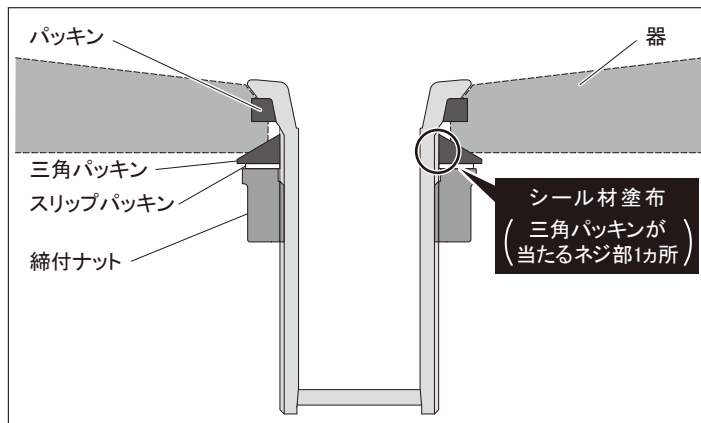
*カウンター対応厚みに関しては器の承認図をご参照ください。

必ず実行 推奨する排水金具をご使用ください。推奨外の排水金具を使用した場合、器に同梱している固定プレート・固定ナットが使用できなくなります。

施工方法

1. 排水金具(別売)を器に取付けます。

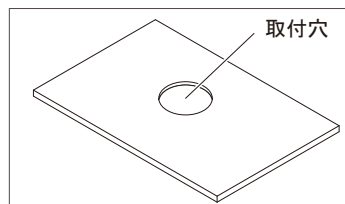
詳細は器具の説明書をご参照ください。



必ず実行 ●必ず指定位置に、シリコンコーキング等のシール材(防カビタイプ)を塗布してください。漏水により家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。
●排水金具の締付ナットは、器の破損を防止するために、ゴムパッキンの弾性を失わない程度に締付けてください。

2. 器をカウンターに取付けます。

*設置方法により施工方法が一部異なります。

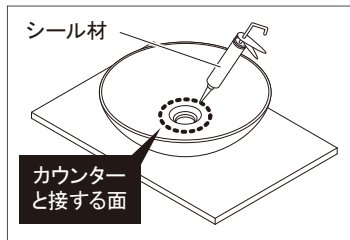


①カウンターに指定の取付穴を開けます。
*取付穴については器の承認図をご参照ください。

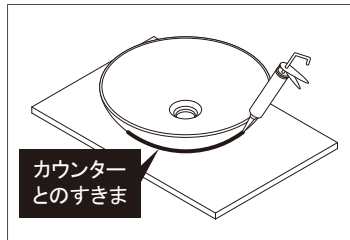
裏面へ続く➡

施工方法(つづき)

2. 器をカウンターに取付けます。(つづき)



② 器の底面(カウンターと接する面)にシール材を塗布し、カウンターに設置します。



③ 器とカウンターのすきま(境界)にシール材を充てんし、きれいに仕上げます。

* 器の傾きや中心のズレがないように位置を確認して取付けてください。

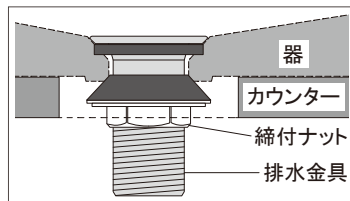
* オーバーカウンターとして設置する場合は、3.水栓金具(別売)・排水トラップ(別売)を取付けます。に進んでください。

④ 排水金具の締付ナットの位置によって施工方法が異なります。

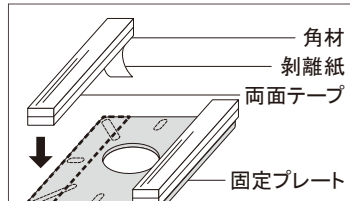
1. 排水金具(別売)を器に取付けます。で取付けた排水金具の締付ナットの位置を確認し、器固定金具を組立てます。

排水金具の締付ナットがカウンター内に収まらない場合

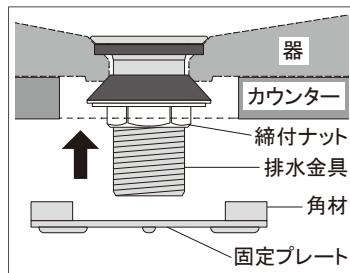
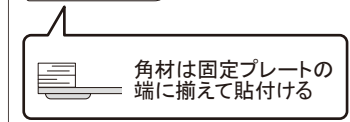
締付ナットが固定プレートに干渉するため、固定プレートに角材を貼付けることで空間を確保して取付けます。



① 締付ナットの飛出し寸法に合わせて、使用する角材の厚みを確認します。
* 厚さ9ミリと21ミリの角材を同梱しています。
* 同梱の角材を使用しても締付ナットに干渉する場合は、別途厚みの異なる角材などをご準備ください。

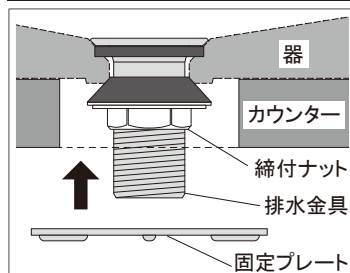


② 角材を両面テープで固定プレートの両端に貼付けます。
* 角材はイラストを参考に、固定プレートの凸部のない面に、端に揃えて貼付けてください。



③ 固定プレートの角材を貼付けている面をカウンター側に向け、排水金具に通します。

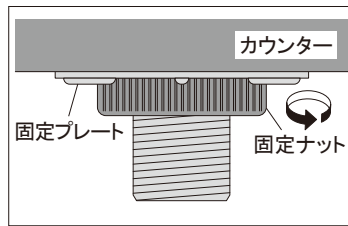
排水金具の締付ナットがカウンター内に収まる場合



固定プレートの凸部の無い面をカウンター側に向け、排水金具に通します。
* 角材は使用しません。

施工方法(つづき)

2. 器をカウンターに取付けます。(つづき)



⑤ 固定ナットを手締めで締付けて、器をしっかりと固定します。

3. 水栓金具(別売)・排水トラップ(別売)を取付けます。

詳細は器具の説明書をご参照ください。



注意

施工後の確認が完了するまでは、水栓金具を吐水させた状態でその場を離れないでください。漏水により家財等を濡らす財産損害発生のおそれがあります。

施工後の確認

① 器の取付状態の確認

ガタつきがないか確認します。

② 水栓の吐水量の確認・調節

水栓を吐水させ、適正な吐水量が確認します。

* 水ハネが激しい場合は、止水栓を調節してください。

* 吐水量が排水能力を上回る(あふれる)場合は、適正水量になるまで止水栓を調節してください。

③ 漏水・排水の確認

通水・排水経路の各接続部に漏水がないか、排水がスムーズに行われるか確認します。

* 詳細は、各器具の説明書をご参照ください。



必ず実行

メンテナンス時等、止水栓を閉じ、再び開く場合には、水栓の吐水量の確認・調節を必ず行ってください。(施工後の確認 ②)

お手入れ方法

いつまでも美しくご使用いただくために

本品は樹脂製ですので、ふだんは乾いたやわらかい布(タオル等)を使って、こまめに水気を拭き取ってください。
汚れがひどい時は、研磨剤を含まない中性洗剤を使用し、うすめた洗剤を含ませた布で軽く拭いた後、水拭きし、最後に乾いた布で水気を拭き取ってください。原液は使用しないでください。